

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 日本語表現 I ナンバリング：1003		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名： 細田香織、山畑昭司 担当形態：クラス分け
授業の到達目標及びテーマ 1. 保育者になるために必要な国語表現技術を身に付け、実践に生かすことができる。 2. 多様な語彙や表現を知り、他者に伝えることを意識して文章を書くことができる。 3. 自らの学びを言語化する「振り返り」を行うことで、学びの内省を図り、実践に生かすことができる。			
授業の概要 二年後に保育者となることを想定し、どのような日本語力が求められるか考え、それらを意識した上で実践力を培う。また保育者に必要な漢字・敬語・文章表現の力を、繰り返し学習する中で身に付ける。			
授業計画 第1回：保育者に求められる日本語力とは 第2回：辞書の使い方と辞書の面白さについて 第3回：日本語検定 過去問にチャレンジ 第4回：実習日誌に使う漢字（50問） 第5回：漢字小テスト、敬語について（概要） 第6回：漢字・敬語小テスト、敬語（尊敬語） 第7回：漢字・敬語小テスト、敬語（謙譲語） 第8回：漢字・敬語小テスト、敬語（会話文） 第9回：漢字・敬語小テスト、間違いやすい漢字（50問） 第10回：漢字小テスト、SNSと手紙の違いとは 第11回：漢字小テスト、美しく丁寧な字の書き方 第12回：表現を意識して学校宛に暑中見舞いを書く〔下書き〕 第13回：表現を意識して学校宛に暑中見舞いを書く〔清書〕 第14回：文章表現の基本（実習日誌を書くために） 第15回：実習日誌の書き方のポイントと実際 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ＜毎回1時間程度＞ ・復習を兼ねた、小テストに向けての学習	
授業の方法 講義と演習（ディスカッション・グループ活動）を組み合わせて行う。 小テストや、授業後に提出するプリントには、コメント等を入れて返却する。			
テキスト 『保育者になるための国語表現』田上貞一郎著、萌文書林			
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する。			
学生に対する評価 小テスト（20%）、提出物・発表（20%）、試験（60%）を判断して評価する。			
履修上の注意 ・主体的に学習に臨むこと。 ・出席と授業参画は当然のことと自覚しておくこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	細田：元高等学校国語科教諭 山畑：元中学校国語科教諭
実務経験を活かした教育内容 国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。			

	卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 日本語表現Ⅱ ナンバリング：1004			単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名： 細田香織、山畑昭司 担当形態：クラス分け
授業の到達目標及びテーマ				
<p>1. 「話す」「聞く」「書く」「読む」を中心に、保育にかかわる実践的な日本語力を身につけることができる。</p> <p>2. 保育者として必要な文章の書き方や表現の基本的事項について学び、他者に伝わる文章を書くことができる。</p> <p>3. 漢字、敬語、文法、文章表現について、保育者として必要な力を身に付けることができる。</p>				
授業の概要				
保育者に求められる「他者が読んで分かりやすい文章の書き方」や、発声・発音の仕方等について演習し、様々な観点から保育者に求められる日本語力を高める。				
授業計画			授業時間外の学習	
<p>第1回：保育者の発声と自己紹介の方法、自己紹介実践</p> <p>第2回：前期の幼稚園実習日誌を用いた学習</p> <p>第3回：絵本の読み聞かせについて</p> <p>第4回：実習日誌の意義と書く時の注意点</p> <p>第5回：他者の書いた実習日誌から学ぶ（グループワーク）</p> <p>第6回：実習日誌から拾い出した、間違いやすい漢字について</p> <p>第7回：実習で間違いが多かった漢字小テスト</p> <p>第8回：実践で使う敬語、適切な表現とは</p> <p>第9回：漢字・敬語・適切な表現 小テスト、同音異義語</p> <p>第10回：事実と意見を分けて書く方法</p> <p>第11回：連絡帳の書き方</p> <p>第12回：実習審査（文章表現）テスト</p> <p>第13回：四字熟語・慣用句</p> <p>第14回：施設実習日誌の書き方とポイント</p> <p>第15回：復習とまとめ</p> <p>定期試験：筆記</p>			<p>< 毎回1時間程度 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を兼ねた、小テストのための学習 ・相互読み聞かせの練習 	
授業の方法				
<p>講義と演習（ディスカッション・グループ活動）を組み合わせて行う。</p> <p>毎回の提出プリントは確認の後、赤ペンを入れて返却する。</p>				
テキスト 『保育者になるための国語表現』 田上貞一郎著、萌文書林				
参考書・参考資料等				
適宜プリントを配布する。				
学生に対する評価				
提出物（小テスト含む）・発表（40%）、試験（60%）を判断して評価する。				
履修上の注意				
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に臨むこと。 ・授業の最初に2人ずつ相互読み聞かせを行う。担当学生は必ず下読みをして準備すること。 				
実務経験の有無	有	実務経験	細田：元高等学校国語科教諭 山畑：元中学校国語科教諭	
実務経験を活かした教育内容				
国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。				